

## 議決権行使レポート

証券コード **6620**

会社名 **宮越ホールディングス株式会社**

	賛成	反対	棄権
第1号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）2名選任の件			
宮越 邦正 氏	○		
板倉 啓太 氏	○		
第2号議案 監査等委員である取締役3名選任の件			
田村 幸治 氏	○		
宮越 盛也 氏	○		
段 鳳林 氏	○		

### 上記の推奨をした理由

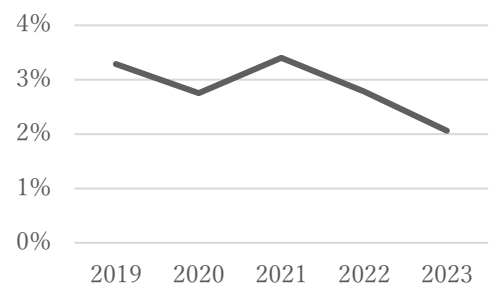
#### [第1号議案]

同社の自己資本利益率（ROE）は、ISSが基準として定める5%を過去5期連続で下回っており、さらに近年は下降傾向が見られる。しかし、これは深圳プロジェクトの進捗に伴った、既設建物の取り壊しや長期賃貸顧客の契約更新の見送りによる利益の減少や、自己資本の増加が要因として挙げられる。よって、ROEが基準に満たなくとも、将来の企業価値上昇への期待をすることができる。

また、ISSは取締役会に女性取締役が一人もいない場合は、経営トップである取締役に対して反対を推奨する基準を設けている。現在当社には女性取締役がいないが、深圳プロジェクトの推進の中で経験を持った取締役を入れ替えるのは賢明ではないと考える。

以上を考慮に入れたうえで、取締役選任について判断した。

過去5期におけるROEの推移



#### ・宮越 邦正 氏

同氏には、代表取締役会長兼社長として57年同社を率いてきたという実績がある。また、同社は2030年までに時価総額を1兆円にするという構想を掲げており、この構想の

成功には、基盤となる深圳プロジェクトを推進してきた同氏の知識や経験が必要不可欠だと考える。以上の理由より、賛成である。

・板倉 啓太 氏

同氏は長年にわたって同社の取締役を歴任しており、今後の同社の発展にはその豊富な知識や経験が必要であると考えます。よって、賛成である。

[第2号議案]

・田村 幸治 氏

同氏は日本食糧新聞社やその関連会社の重役を歴任しており、その幅広い知識や経験に基づく同氏からの助言は、今後の同社の着実な発展に必要であると考えます。よって、賛成である。

・宮越 盛也 氏

同氏は株式会社タスクや株式会社ビオカの代表取締役を務めており、その企業経営への豊富な知識や経験に基づく同氏からの助言は、今後の同社の適正な経営判断に必要であると考えます。よって、賛成である。

・段 鳳林 氏

同氏は中国における企業経営者としての実績を有しており、同社の今後の中国事業の成長には、同氏の助言・監督が必要であると考えます。よって、賛成である。

参考

・宮越ホールディングス株式会社 第12回定時株主総会招集ご通知  
call\_12.pdf (miyakoshi-holdings.com)  
(2023/06/19)

・トップメッセージ | 宮越ホールディングス株式会社 (miyakoshi-holdings.com)  
<https://www.miyakoshi-holdings.com/message>  
(2023/06/19)

・深圳プロジェクト | 宮越ホールディングス株式会社 (miyakoshi-holdings.com)  
<https://www.miyakoshi-holdings.com/project>  
(2023/06/19)

・Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf (issgovernance.com)  
<https://www.issgovernance.com/file/policy/active/asiapacific/Japan-Voting-Guidelines-Japanese.pdf>  
(2023/06/21)

- ・ IR ライブラリ | 宮越ホールディングス株式会社 (miyakoshi-holdings.com)  
<https://www.miyakoshi-holdings.com/ir/library>  
(2023/06/21)